

インド上院選、与党連合が躍進

ねじれ国会の解消に前進で、改革期待が高まり株式市場に追い風

2024年3月5日

世論調査結果も合わせて、総選挙での「モディ・ウェーブ」を示唆

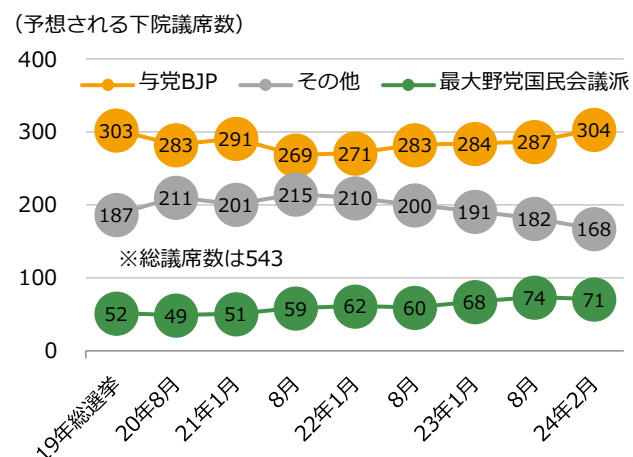
連邦議会二院制のインドで、2月27日に上院（間接選挙）245議席中の56議席が改選されました。41議席は無投票で（地方議会議員数に基づく比例制）、残りの15議席は地方議会の議員による投票で決まります。上下院とも最大議席数を有し、上記15議席のうち10議席を占めるウッタル・プラデシュ州で与党BJP（インド人民党）が8議席を獲得し、予想以上の勝利を収めたことで、4-5月に行われる下院総選挙でモディ政権を支える与党BJPの優勢観測が一層強まっています。

また、現地報道によると、与党連合NDA（国民民主同盟）は、上院過半数（欠員除く121議席）まで議席に迫り、近い将来の上院での過半数獲得も視野に入りました。下院では圧倒的に優勢な与党連合NDAですが、上院では過半数に達しておらず、このねじれ国会が土地改革法案や労働関連法の改正など、改革推進のための障害の一つとみなされています。そのため、ねじれ国会が解消される可能性は、今後の更なる改革への期待に弾みがつき、中長期的な経済発展にポジティブと考えられます。

4-5月の下院総選挙ではモディ首相が再選されるかが注目されています。今回の上院の改選や、2023年11月の大型州議会選挙、さらに最新の世論調査結果【図1】をみると、与党BJPの優勢は増しており、14年および19年の総選挙のような「モディ・ウェーブ」を引き起こす可能性が高まりました。

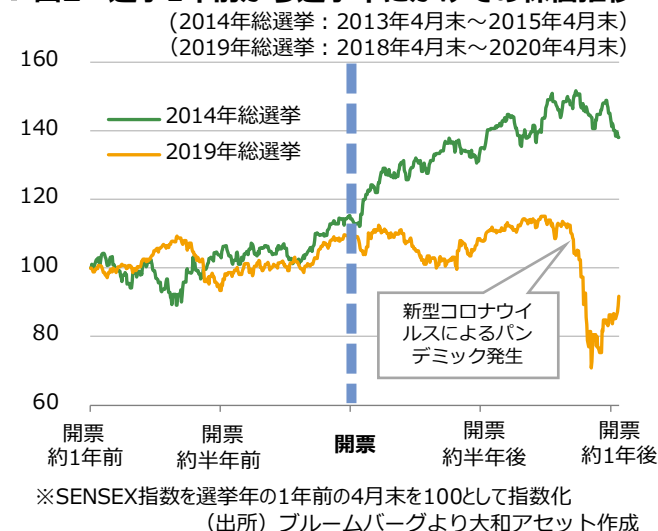
株式市場は、14年、19年の総選挙において、グジャラート州の経済を飛躍させた実績を持つモディ首相の当選を好感しました【図2】。今回も、「モディ・ウェーブ」の可能性の高まりを受け、ねじれ国会の解消や中長期的な改革推進への期待も高まっており、株式市場の追い風になると見込まれます。

■ 図1 下院総選挙議席数予想に関する世論調査



*2019年は、不正疑惑が生じた1議席を除く542議席への投票が行われた
(出所) India Today世論調査により大和アセット作成

■ 図2 選挙1年前から選挙年にかけての株価推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント